

# 平成 30 年度 学校評価 集計結果

## 令和元年度 学校評価 アンケートの概要

1. 実施期間 教員：平成 30 年 11 月（自己評価）、回答 56 人  
保護者：平成 30 年 11 月下旬～12 月上旬 用紙配付  
生徒：平成 30 年 11 月 HR にて実施

### 2. 回答数

	保護者	生徒
1 年生 (46 期生)	244 人	309 人
2 年生 (45 期生)	173 人	310 人
3 年生 (44 期生)	196 人	303 人
合計	613 人	922 人

3. 質問項目 大阪府教育委員会指定の必須項目を含めて実施

## 1. 自己評価(教員アンケート)の集計結果

(1) 分析の概要 質問のうち前年比で 1 項目が大きく上昇、1 項目が大きく下降した。

1. 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(今年度 89.3% ← 昨年度 91.4%)
2. 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。(75.0% ← 82.8%)
3. 授業において、指導方法の工夫・改善に努めている。(98.2% ← 98.2%)
4. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(76.8% ← 73.7%)
5. 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。(72.7% ← 75.9%)
6. 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(82.1% ← 87.7%)
7. 学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。(66.7% ← 80.7%)
8. 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(76.4% ← 70.2%)
9. 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。(76.8% ← 75.4%)
10. いじめ(疑いを含めて)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。(87.3% ← 73.2%)

\* 質問6の下降が目立つ。多様化する生徒への対応が問われる中、この状況に関しては校内でも一定反省と振り返りが必要であると思われる。質問 10 については事象の有無にかかわらず、定期的に委員会を開催し、様々なケースについて話し合う機会を設けたことが数値の上昇につながっていると考えられる。

## 2. 保護者アンケートの集計結果

・保護者アンケートについては全体的には前年比で大きな数値の変動は見られなかったものの、全体として数値が上昇傾向にあるのはプラスの部分であると思われる。

(1) 分析の概要 質問のうち3項目で数値が前年比で5ポイント程度下降した。

1. 子どもは学校に通うのが楽しいと言っている。(今年度 77.4% ← 昨年度 83.8%)
2. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。(59.8% ← 58.5%)
3. 学校の生徒指導の方針に共感できる。(78.5% ← 83.7%)
4. 学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(79.1% ← 83.8%)
5. 学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。(81.9% ← 83.0%)
6. この学校の部活動は活発である。(87.8% ← 88.7%)
7. 学校は子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。(87.6% ← 86.7%)
8. 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。(77.1% ← 78.6%)
9. この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(71.5% ← 72.3%)
10. 学校は教育情報について、文書、ホームページ、メルマガ等を通じて提供の努力をしている。(79.6% ← 76.7%)
11. 学校はいじめなど子供が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(79.9% ← 81.7%)

\*質問1の数字が6ポイント以上下がったことは気になる数字である。その原因がどこにあるのかを教員集団で常に探る姿勢を持ち続けることが必要ではないかと思う。また、質問3の項目については保護者の学校に対する信頼度を測る数値であると言えるため、指導方針の意義を今まで以上に説明していく必要があるのではないかと思われる。質問4については進路指導に対する保護者の要望と考えられる数値であるので、今以上の充実を進めていくことが課題であると思われる。

### 3. 生徒アンケートの集計結果

(1)生徒アンケート 分析の概要 質問のうち4項目で数値が前年比で大幅下降、2項目で大幅上昇するなど振れ幅の大きい結果となった。

1. 学校に行くのが楽しい。(今年度 76.4% ← 昨年度 77.6%)
2. この学校には他の学校にはない特色がある。(60.7% ← 67.0%)
3. 授業が楽しくわかりやすい。(51.1% ← 53.0%)
4. 教材や教え方に ICT(パソコンやプロジェクター等)も含めて、様々な工夫をしている先生が多い。(81.4% ← 84.7%)
5. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(50.6% ← 42.3%)
6. 復習などを中心とした宿題の量は適切である。(65.5% ← 66.3%)
7. 理解度に応じて補習や講習が行われている。(63.9% ← 47.7%)
8. 学校生活についての先生の指導は納得できる。(55.2% ← 62.2%)
9. 将来を考えると、校則はほぼ適切だと思う。(62.9% ← 前回項目なし)
10. 先生は、いじめなど生徒が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(69.8% ← 75.9%)
11. 将来の進路や生き方について考える機会がある。(87.3% ← 86.4%)
12. 将来の進路はだいたい決めている。(71.0% ← 71.1%)
13. 自分の将来の進路決定に際して、本校の専門コースが役立っていると思う。(57.6% ← 67.2%)
14. 進路説明会、大学見学、企業見学など進路選択に関して学ぶ機会がある。(81.5% ← 前回項目なし)
15. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。(81.6% ← 84.5%)
16. 学校全体として、部活動は活発だと思う。(82.7% ← 83.2%)
17. 体育祭・文化祭など学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。(77.0% ← 78.5%)
18. 自習室、図書室等の開室がされていて、学習する環境が整っている。(84.2% ← 88.0%)
19. 学校は、清掃活動が行き届いていて清潔である。(46.9% ← 44.9%)

\*質問2が6ポイント以上下降している。学校行事等が年々縮小傾向にあるという校内からの指摘もあり、検証する余地があると言えるだろう。質問8の約7ポイントの下降についても、生徒との信頼に関わる部分でもあるので、ルールや決まりの意義などを一層生徒に理解させていく必要があると言えるだろう。質問10についても6ポイントの下降は非常に気にすべき数字である。質問13については10ポイント近く下降しており、本校のコース制の特色をもっと強めていくような取り組みが求められているのかも知れない。質問5についてはアクティブラーニングなどの導入が進む中で数値が向上していることが感じられるが、数字自体はまだまだ低いレベルにあり、一層の向上が求められると言える。質問7の大幅な上昇については学年による差であると言える数字で、上昇は評価できるものの本来は年度によって上下すべき数字ではないという点で課題があると言えるだろう。

#### 4. 自由記述部分について

保護者、生徒、教員からは自由記述による意見も多数寄せられた。すべての意見について、次年度以降に役立てられるように、職員会議で共有した。